

品質管理 レビューの 再定義

デジタル時代における継続的な改善の推進

powered by 

目次

- 1 管理の概要
- 2 品質管理レビューとは
- 3 QMR 変革が急務
- 4 QMR の可能性を引き出す
- 5 QMR を変革して比類のない結果を実現

管理の 概要

1

品質管理レビューは、組織の品質システムの構造化された包括的な評価であり、その全体的な有効性、適合性、パフォーマンスを評価するものです。

残念なことに、ほとんどの品質管理レビュープロセスは不十分であり、品質管理システムのパフォーマンスを最適化するために必要な洞察を提供できず、組織は永続的な成功のためにアプローチを再評価する必要に迫られています。

組織は、変革の過程を進めるにあたり、現在の保存場所に関係なく、すべてのデータソースへのシームレスな接続を戦略的に活用し、リアルタイム分析を備えたデジタルコラボレーション環境を活用して、より迅速かつ情報に基づいた意思決定を行うことができます。

組織はこれらの進歩を取り入れることで、効率性を高めるだけでなく、トレンドを予測して市場での競争優位性を高め、継続的な改善を推進することができます。



品質管理レビュー とは

2

品質管理レビュー（QMR）は品質管理システム（QMS）を成功させるための重要なコンポーネントです。

その主な役割は、組織の品質システムを構造的かつ包括的に評価し、全体的な有効性、適合性、パフォーマンスを評価することです。品質が組織間の差別化を図る重要な要素となっている現在のビジネス環境では、QMRは企業が品質システムを管理、監視、強化する方法を変える可能性を秘めています。



QMR 変革が 急務

3

従来の QMR プロセスは、品質管理システムの全体的なパフォーマンスを向上させるという本来の目的を達成できていません。

その結果、企業が求めている価値を提供できず、ほとんどの場合、時間のかかるチェックボックス作業と見なされます。

QMR に関する共通の課題を以下に示します：

データの集約と解釈の複雑さ：

複数の記録システムにより、集計、要約、書式設定が複雑になります。これにより、調査結果を実行可能なステップに解釈することが困難にしています。

リソースの制約：

品質チームは、QMR の計画、実装、報告という大きな負担を負っています。限られたリソースや競合する優先事項によって、徹底した QMR のために十分なリソースを割り当てること妨げられています。

難しさの度合い：

サイト、事業単位、企業レベル間の QMR プロセスは複雑であり、組織の目標、価値、標準の KPI セットとの整合性を確保するためには追加の取り組みが必要です。

リアルタイムデータの欠如：

リアルタイムデータへのアクセスが制限されているため、タイムリーなデータ主導の意思決定が妨げられています。

QMRの可能性を引き出す

4

QMS レビューの開始以来、テクノロジーは大幅に進歩しました。

競争力の維持を目指す組織は、新たな機能を活用してこのプロセスに革命を起こします。デジタル技術の進化により可能性が再構築され、QMR 強化のための前例のない機会が生まれました。

ハネウェル品質管理レビュー (HQMR) は、デジタル技術を活用して品質システム管理レビュープロセスを刷新し、一貫した適合性、妥当性、パフォーマンスを確保します。HQMR は独自のデータファブリックを使用して、一般的に使用される記録システムへの包括的な組み込み統合を提供し、データを自動的に集約し、実用的な洞察をユーザーに提示します。これにより、IT チームとビジネスチームの実装の負担が軽減されるだけでなく、即時の使いやすさと迅速な価値実現がなされます。HQMRの主な機能は以下の通りです：

自動データ収集：

複数の記録システムからデータに素早くアクセスし、手作業の労力を減らし、データの精度を向上

即時アクセス：

アプリケーションにより、いつでも便利にアクセスでき、迅速な実装が可能になり、直ちにプロセスの改善を開始

最新のユーザーエクスペリエンス：

ユーザーは直感的でインタラクティブなインターフェースを利用でき、紙や PowerPoint を使わずに生産性を向上

デジタルコラボレーション：

電子署名とデジタルツールを使用して、すべての品質指標と推奨事項に一元的にアクセスでき、タイムリーなデータを取得し、レビューを承認

組み込まれた分析：

完全に透明で柔軟な分析により、品質管理システム内のリスク領域をサイト間で一貫して簡単に洞察

ダイナミックなデータ可視化：

ライブインタラクティブなダッシュボードが、特定のデータポイントの抽出、情報フィルタリング、データの傾向やパターン探索ができる、完全に透明で柔軟な分析機能を提供

HQMRの結果：

- 改善された運用効率：合理化されたプロセス、インテリジェントなワークフロー、自動化により、品質チーム負担を軽減
- 価値ある品質の洞察と情報に基づいた意思決定：リスクを軽減し、継続的な改善を促進するために、品質をほぼリアルタイムでプロアクティブに監視

QMR を変革して 比類のない結果を実現

5

競争の激しい市場で優位に立つためには、従来のチェックボックス方式から、ダイナミックなデジタルを活用した方法への移行が必要です。

HQMR はこの変革の触媒として機能し、手動タスクの置き換え、API コネクタを介したデータのシームレスな統合、組み込み分析を利用した洞察力のある意思決定の機能を組織に提供します。電子署名とデジタルツールで強化された共同作業環境により、レビュープロセスが簡単に促進されます。

これらの進歩により QMR プロセスを加速することで、組織はコンプライアンスだけでなく、進化を続ける品質管理環境において継続的な成功を収めることができるようになります。

詳細情報

詳細については、
www.spartasystems.jpをご覧ください。

Honeywell

2000 Waterview Drive, Suite 300
Hamilton, NJ 08691 USA

QSMR Redefined | Rev 1 | 03/24 © 2024
Honeywell International Inc.

THE
FUTURE
IS
WHAT
WE
MAKE IT

Honeywell